

地方都市再生に向けたLRT活用方策に関する研究

(平成18～20年度 18年度予算額: 8百万円)

目的

地方都市においてLRTを活用するために必要な計画・評価技術、ハードウェア技術を開発することにより、既存公共交通機関の利便性向上、都市交通のモビリティ向上に資する都市の再生を進め、全国各地で衰退している中心市街地の活性化を図るとともに、高齢者等のモビリティ確保、地球環境問題への対応等を促進する。

内容

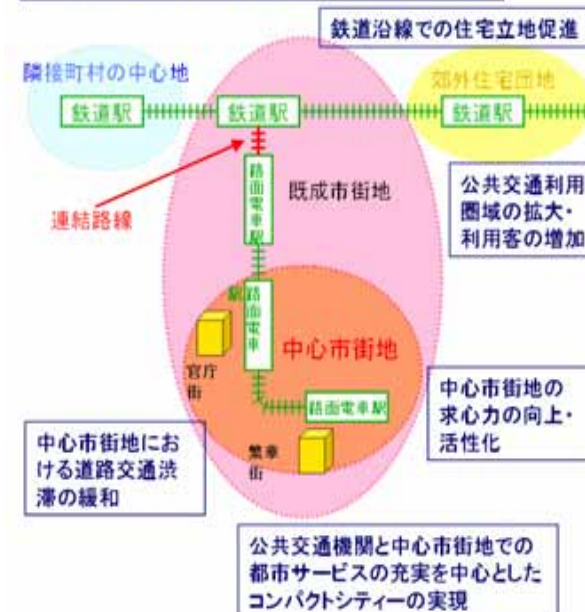
都市交通のモビリティ向上による効果を定量的に把握する手法を開発するとともに、地方都市再生に資するLRT活用マニュアルの策定やLRTの地方鉄道乗入れに伴って必要となる技術開発のための方向性をとりまとめる。また、自治体等による計画・事業調整や合意形成を促進する手法を提供するとともに、交通事業者等が施設・車両等の開発を促進するための方向性を提示する。

効果

モータリゼーションの進展等による市街地の拡大に既存の公共交通機関を適応させることにより、中心市街地衰退に歯止めをかけるとともに、財政的な制約下で既存ストックを有効に活用したコンパクトな都市構造への誘導を図り、地方都市再生を推進させる。

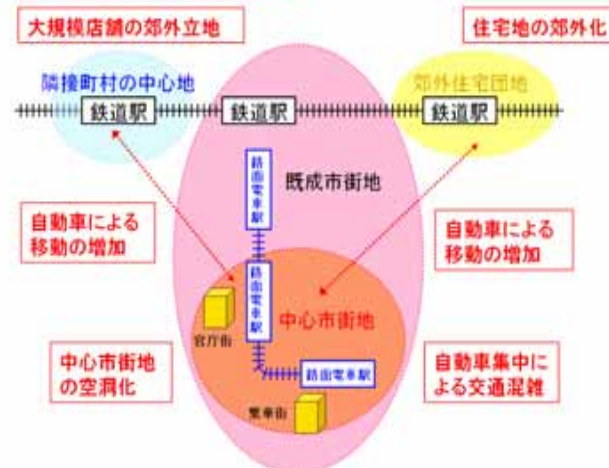
研究成果の波及効果

●LRTの地方鉄道乗り入れによるアウトカム



研究の背景・課題

●現状における都市整備上の課題



LRTの導入パターン (先行研究の成果)



具体的な研究調査項目 (本研究)

- 地方鉄道と連携してLRT導入を推進するための計画・評価技術及びハードウェア開発指針を研究調査
1. 定量的整備効果の把握手法の検討
 2. 導入候補路線の抽出・都市整備の方向性検討
 3. ハードウェアの技術開発に関する検討
 4. 地方都市再生に向けたLRT活用マニュアルのとりまとめ
 5. ハードウェア技術開発の方向性とりまとめ